

# 最近の雇用情勢について

(平成30年5月)

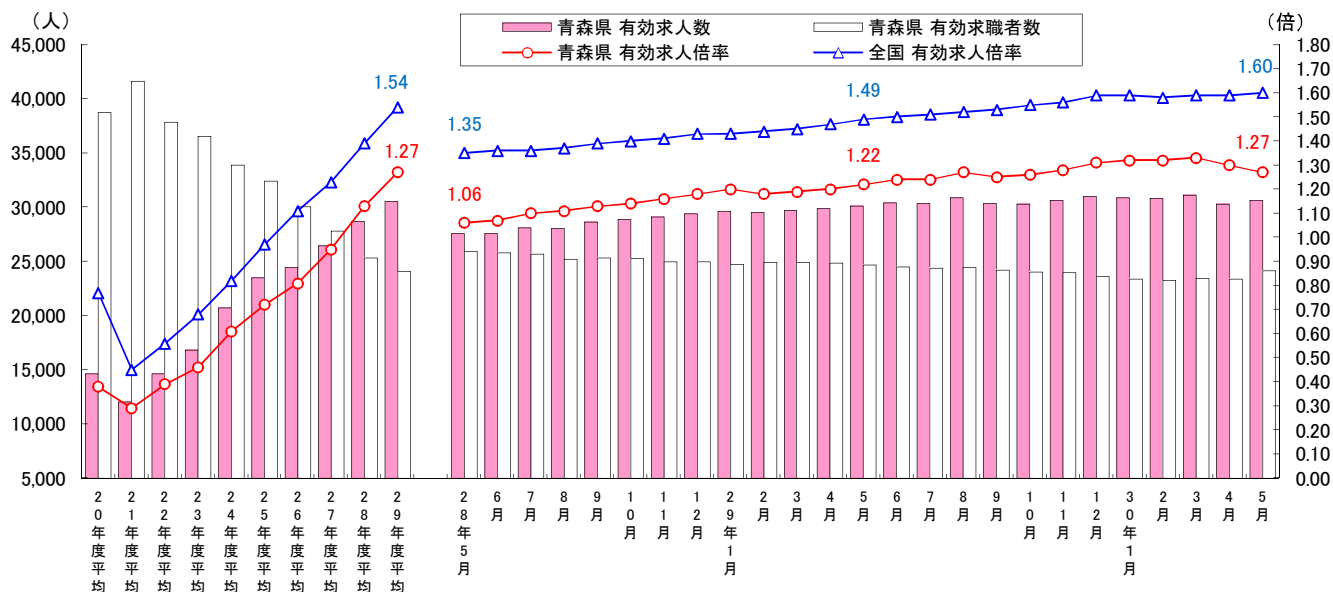
青森労働局

## I 求人・求職・受理地別求人倍率の推移(季節調整値)・・・年度平均は原数値

5月の一般職業紹介状況をみると、有効求人数(季節調整値)は前月に比べ1.1%増加し30,628人、有効求職者数(同)は3.3%増加の24,140人で、有効求人倍率(同)は1.27倍となり、前月より0.03ポイント低下した。

就業地別の有効求人倍率(季節調整値)は1.36となり、前月を0.04ポイント下回り、受理地別の倍率を0.09ポイント上回った。

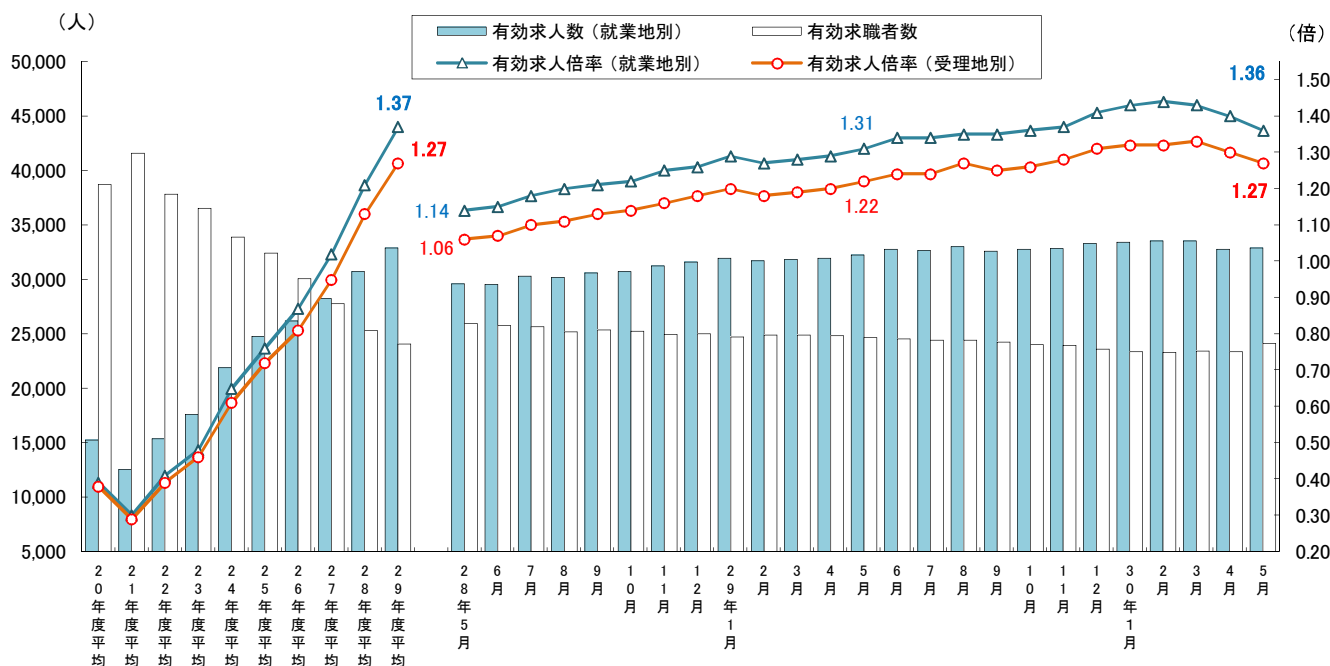
### 受理地別有効求人倍率の推移 (全数・季節調整値)



※ 県内のハローワークで受理した求人数から求人倍率を算定。

### 【参考指標】

### 就業地別有効求人倍率の推移 (全数・季節調整値)

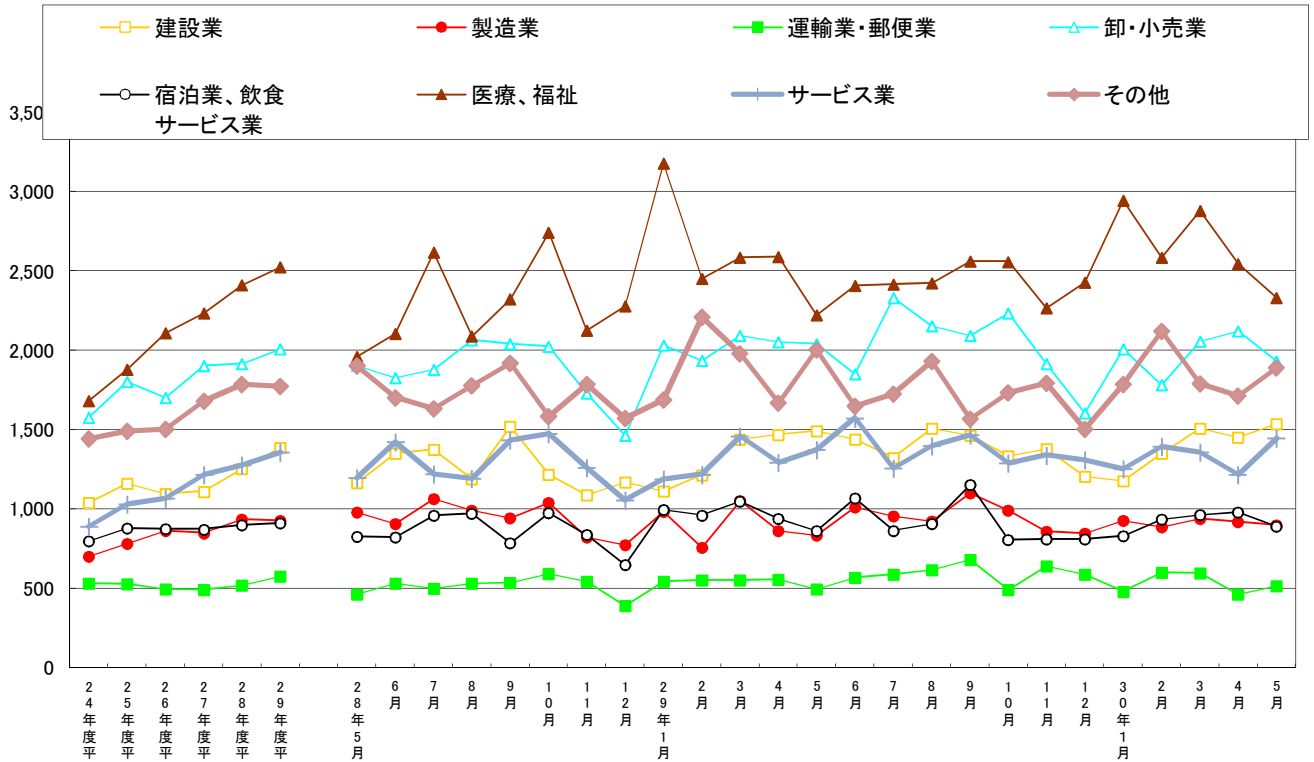


全国ハローワークで受理した求人で、就業地が青森県内となっている求人数から求人倍率を算定。  
 季節求人については、受理したハローワーク管内を就業地としてみなしている。  
 就業地として複数の市町村が挙げられている場合は、求人数を該当の市町村に割り当てることにより集計。

(注) 季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12ARIMA)による。なお、平成29年12月以前の数値は新季節指数により改訂されている。

## II 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

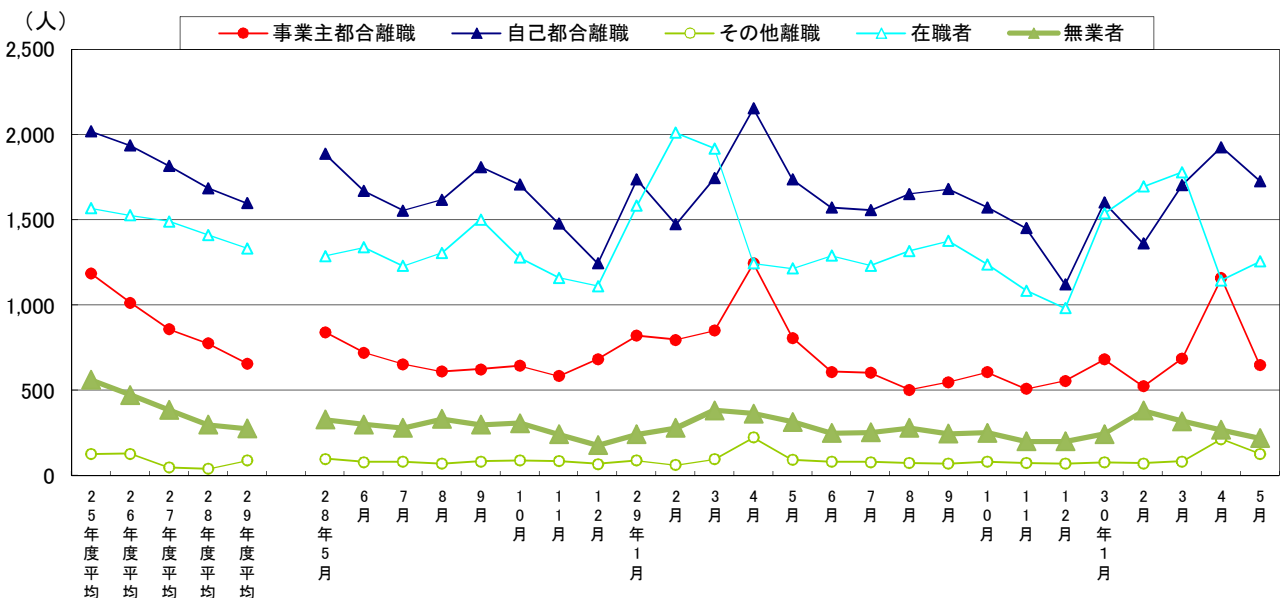
5月の新規求人数(原数値)は前年同月比1.1%(120人)増加の11,437人。  
 産業別で前年同月と比較すると、建設業、製造業、運輸業、郵便業、宿泊業、飲食サービス業、医療、福祉サービス業等で増加し、卸売・小売業等で減少した。製造業では、繊維工業、金属製品製造業、業務用機械器具製造業、情報通信機械器具製造業で増加したが、食料品製造業、印刷・関連業、窯業・土石製品製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業等で減少した。



平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。  
 『その他』には、「農・林・漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「不動産、物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「複合サービス事業」「公務、その他」を含みます。

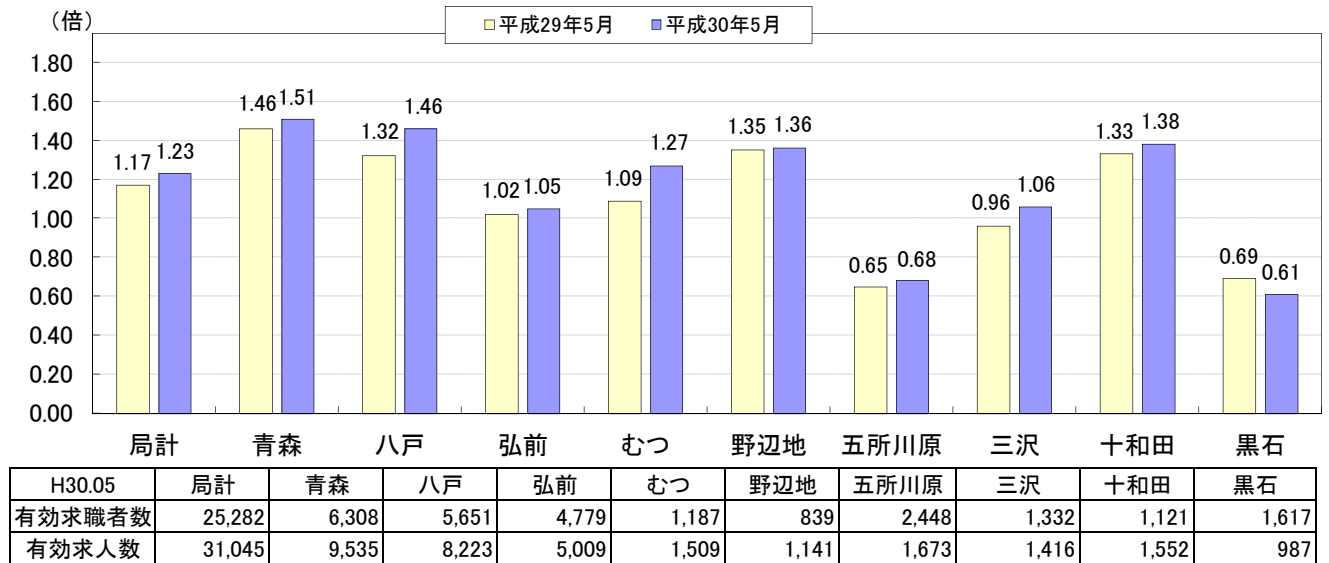
## III 新規求職の状況(パートを除く常用)

5月の新規求職者数(原数値)は、前年同月比4.4%(185人)減少の3,981人。  
 求職者を態様別に前年同月と比較すると、在職者は3.5%(42人)増加し、離職者は5.0%(133人)減少、無業者は29.8%(94人)の減少となった。  
 離職理由でみると、事業主都合は19.9%(161人)の減少、自己都合は0.5%(9人)の減少となった。



#### IV 安定所別求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数・・・原数値)

5月の局計の有効求人倍率(原数値)は1.23倍となり、前年同月を0.06ポイント上回った。  
各安定所別の有効求人倍率は次のとおり。

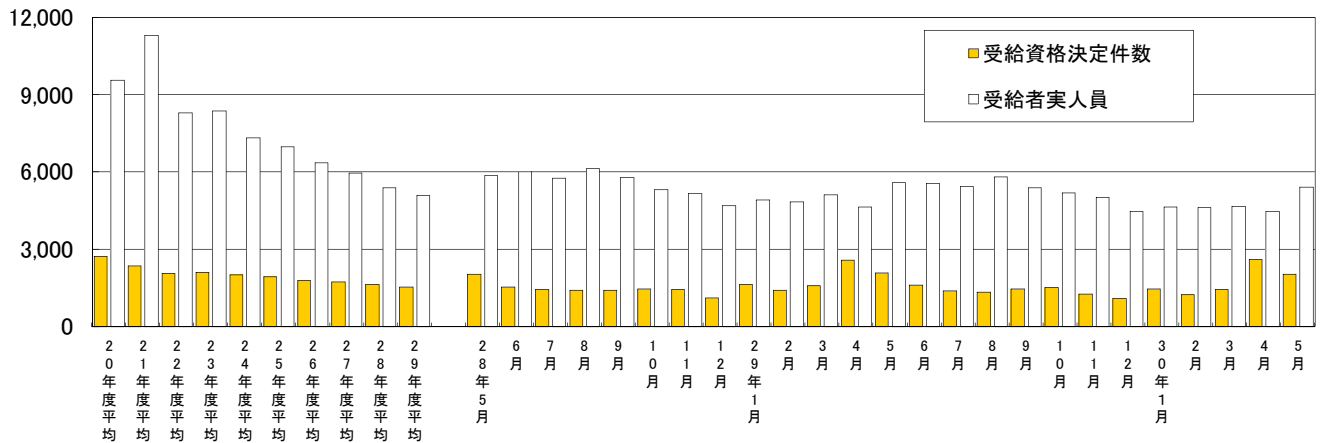


#### V 雇用保険の状況

5月の受給者実人員(基本手当基本分)は、前年同月比3.0%(166人)減少、前月比では20.8%(935人)増加の5,420人となった。また、受給資格決定件数は、前年同月2.5%(52件)減少、前月よりも21.4%(560件)減少し2,051件となった。

資格喪失者(高年齢、短期特例被保険者を除く)のうち事業主都合による者は、前年同月比20.2%(54人)減少、前月比56.3%(274人)減少し213人となった。

(人) 受給資格決定件数と受給者実人員の推移



(人) 事業主都合による資格喪失件数の産業別推移

